

高瀬堰からのお知らせ(第11号)

平成28年度 高瀬堰におけるアユ仔魚の降下調査結果について(速報)

- 高瀬堰では、10月～12月にアユ仔魚降下促進のための変更放流をしていることから、その降下状況を調査しました。
- 調査は、アユ仔魚がふ化する時期に合わせて、平成28年10月25日～11月22日に5回実施しました。
- 過去3年と同等以上の降下密度(流量あたりの個体数)が確認されました。
- 卵黄指数の大きな(ふ化して間もない)仔魚の降下ピークが、堰の下流で20時～翌1時に確認できました。
- 貯水池に入ってきた仔魚は、3～4時間程度で降下していることが確認されました。



- ✓ 平成18年度から太田川本川、三篠川・根谷川合流部、堰下流右岸でアユ仔魚降下調査を実施しています。
- ✓ 今年は、貯水池内や魚道の下流端でも調査を実施しました。
- ✓ ふ化仔魚が出現する16時～翌4時に、プランクトンネットを使って流れてくる仔魚を捕獲しました。
- ✓ 確認された個体について、個体数のピークの有無と時間差を確認して、貯水池を順調に降下しているか評価しています。

※卵黄指数とは...

- ✓ ふ化してすぐのアユは、卵黄にある栄養分を吸収しながら降下していきます。5日程度経つと卵黄がなくなります。そこまでに海にたどり着けないと、餌が取れずに死んでしまいます。
- ✓ 卵黄指数の大きさ(おなかの大きさ:最大4)で、卵から出てきてすぐの仔魚かどうか判断できます。



卵黄指数4



卵黄指数1

調査年度	流入量 (13時間平均)	降下密度 個体/m ³ 全サンプル単純平均		卵黄指数3,4の 降下ピーク時間帯		卵黄指数3,4の割合 全サンプル単純平均	
		変更放流	通常放流	変更放流	通常放流	変更放流	通常放流
平成18	34 m ³ /s	4.4	3.7	21～0 h	21～1 h	39%	37%
平成19	20 m ³ /s	1.6	2.3	1～4 h	23～2 h	18%	25%
平成20	18 m ³ /s	0.7	0.7	0～3 h	2～3 h	73%	73%
平成21	27 m ³ /s	1.7	0.4	23～2 h	21～1 h	62%	77%
平成24	23 m ³ /s	0.3	—	0～2 h	—	82%	—
平成25	62 m ³ /s	0.3	—	19～20 h	—	81%	—
平成26	34 m ³ /s	1.2	—	22～3 h	—	34%	—
平成27	30 m ³ /s	1.5	—	22～1 h	—	47%	—
平成28	43 m ³ /s	1.7	—	20～1 h	—	54%	—